

# 西紀っ子だより



「未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成 ～郷土を愛し ところ豊かに たくましく～」

◇丹波篠山市立西紀小学校

◇〒669-2716 丹波篠山市乗竹650

◇TEL: 593-0024 ◇FAX: 593-0249

◇E-mail: el-nishiki@school.sasayama.jp

◇HPはこちらへ→



No. 10

(文責: 安井健二)

## 「4つの眼」

校長 安井健二

「梅一輪、一輪ほどの暖かさ」2月も半ばになりました。2月4日に立春を迎え「春はそこまで」とは分かっていますが、まだそれを体感することはもう少し先になりそうです。しかし、校庭の桜の蕾は寒い冬をじっと耐え、しかし一日たりとも成長を止めず、今少しづつ少しづつ膨らみ始めています。「がんばれよ!もう少し!」と声をかけたくになります。

昔、グアテマラにいた時、「日本が今のように成長したのは『四季』があるからだ!」とっていました。毎年来る寒い冬の期間をじっと耐え、耐える工夫をし、エネルギーをため、温かくなったらそのエネルギーを発散する。その繰り返しによって徐々に成長してきたのでないかと思っていました。

「成長」「発展」には、それを取り巻く「環境」が少なからず影響しています。そして、その「環境」は時代と共に変化していきます。

先日、ある記事の中にこんなことが書いてありました。「今の若い世代は、LINEで文を打つ時、句読点を使いません。だから、たまに目にする句読点に、『かしこまっている』という印象や『威圧感』『怒り』の感情を読み取ってしまいます。一方、若い世代は自分からあえて句読点を使うことがあります。LINEの文の最後に、『笑』がついていたら怒っていないということ、『爆笑』がついていたら冗談。『。』がついていたらその怒りの強調、という感じです。例えば、『いいと思うよ笑』なら賛成だが、『いいと思うよ。』なら気に入らないけど好きにすれば!というニュアンスなる。」という内容でした。

LINEなんてない時代に育ち、文の終わりには「。」を付けるということに何の疑いもなく育ってきた私にとって、なかなか理解しがたい内容でした。

確かに、「時代の変化」＝「環境の変化」に順応していかなければいけないのかもしれませんが、しかし、「どんな時に幸せを感じる?」と聞かれて、「自分の大切な人が幸せになる時」と答える「西紀っ子」に正直ホッと、幸せを感じています。

自然界の動植物には、その成長にとって大切な条件(環境)があります。それと同様に、子どもの成長にとってもその時々大切な条件(環境)があります。そして、環境が変化してもその時々大人がタイミングよく「言葉」「態度」「行動」「考え方」などを示すことで、その「大切な条件(環境)」が整い、子どもはぐんぐん成長します。逆に、そのタイミングを逃すと、大切な価値も身に付きにくいように思います。

大切なタイミングを逃さないために、「家庭」、そして「学校」で大切にしていきたいものが「4つの眼」です。

- ① 子どもの表面的な行動を見る「肉眼の眼」
- ② 子どもたちの心の奥を的確に見通す「透視の眼」
- ③ 日常の断片的な観察ではなく、長期的な視点で成長を見つめる「時間の眼」
- ④ 子どもたちの行動に誘発されて、大人自らの心を広げる「拡大の眼」

この「4つの眼」を持ち続け、西紀っ子の頭、心、身体がたわわに実り、成長する姿を思い描きながら、これからも見守り続けていきたいと思っています。

## 防災参観、地域防災訓練・・・お世話になりました

1月17日、阪神淡路大震災が起って29年の月日が経ったこの日、大地震を想定した避難訓練、防災に関する授業参観、保護者、地域の人たちと一緒に「1. 17は忘れない地域防災訓練」を行いました。今年は1月1日に能登半島地震が起きたことにより、被災された方のことを考え、寄り添いながら、自分のこととして「ともに」考える集会、訓練になりました。

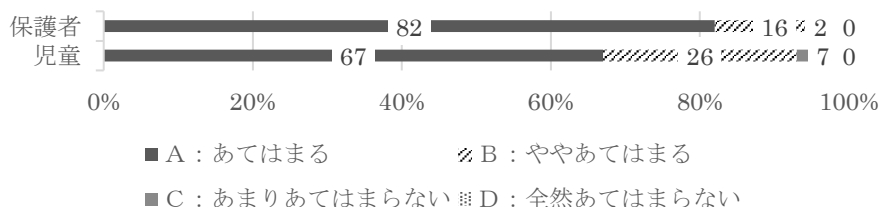
こうした取組を続けることにより、今後も自他尊心を大切にしたい西紀っ子の「豊かな心」を育てていきたいと思えます。

ご参観いただいた方々、子どもたちとともに訓練に参加していただいた方々、ありがとうございました。

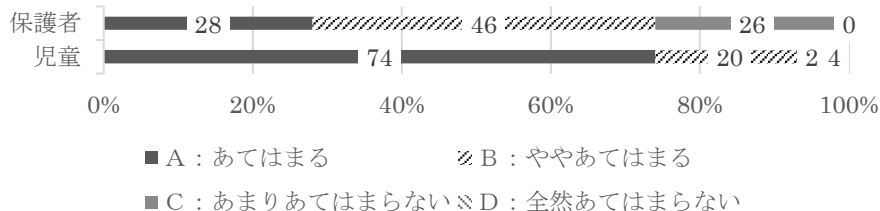


## 「教育」に関する保護者・児童アンケートを行いました。

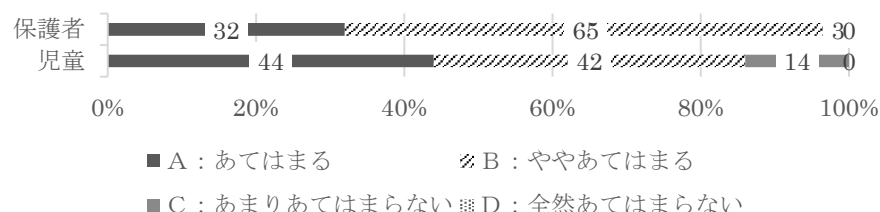
### 学校は楽しいか



### 夢や目標に向かってがんばっているか



### 学力が身についているか



12月に保護者の方々と児童の協力を得て行った「教育」に関するアンケート結果を本校のホームページに掲載しています。「あてはまる」「ややあてはまる」の数値を見ると、概ね全ての質問項目で良好な結果を得ることができました。しかし、「あてはまる」だけに絞ってしてみると、保護者と児童との意識の違いがあるなどの課題もありました。今後、さらに分析を続けながら、これからの学校経営に生かしたいと考えています。そして、将来に向けて夢と希望を持ちがんばり続ける西紀っ子の育成を目指していきます。そのためには、まず子どもたちにとって学校が楽しい場所であり続けたいと思っています。

アンケートの全容は、本校のホームページをご覧ください。